

## 2025年3月 旅行取扱高状況報告

＜ 日本国内における旅行区分別取扱高 ＞

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	29,930,411	27,613,483	108.4%
国内旅行	6,039,833	5,441,870	111.0%
訪日旅行	2,046,128	1,387,296	147.5%
合計	38,016,373	34,442,650	110.4%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。

### ■海外旅行

夏休みのご予約が早期化していることを受け、「夏の家族旅行キャンペーン」を例年より前倒して展開しました。加えて、業界全体で海外旅行の完全回復を目指す「海外旅行拡大プロジェクト」へ参画し、HISでは「新パスポート取得サポートキャンペーン」を実施しました。

取扱高においては、東南アジアが前年同月比 115%と伸びをみせており、中でもシンガポールが学生・ファミリー層からの人気が高く、前年同月比 136%と好調に推移しました。また、ハワイが3ヶ月連続で前年同月比二桁増と回復をみせており、特にデラックスクラスホテルのハイカテゴリー指定のパッケージツアーがファミリー・シニア層を中心に人気を博し、前年同月比で 116%となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比 108.4%の 299 億 3,041 万円となりました。

### ＜ 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ ＞

方面別	前年同月比
アジア	104.2%
オセアニア・南太平洋	103.2%
ハワイ・ミクロネシア	114.6%
欧州・中近東・アフリカ	116.1%
北米・中南米	108.5%

商品別	前年同月比
手配旅行	109.2%
企画旅行	107.9%

チャネル別	前年同月比
店舗	105.8%
オンライン	109.3%

### ■国内旅行

瀬戸内海の島々と沿岸部を舞台に3年に1度の開催する「瀬戸内国際芸術祭 2025」にむけて、3月14日より「瀬戸内キャンペーン」を実施しました。アート作品のスポットを巡れるよう、レンタカーやフェリーを利用して自由に周遊旅を楽しめるコースや瀬戸内グルメ付きの特典をはじめ、早期割引施策などを展開し、中四国方面の国内旅行需要の獲得に努めました。

取扱高においては、引き続き沖縄方面が牽引し、中でも、開始から2ヶ月目を迎えた絶景バスツアーの順調な稼働もあり、石垣島が前年同月比 116%と好調に推移しました。また、航空券とホテルを組み合わせた「ダイナミックパッケージ」が、JAL キャンペーンを実施したことが奏功し、前年同月比 132%と高い伸びをみせました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比 111.0%の 60 億 3,983 万円となりました。

### ■訪日旅行

北海道のインバウンド再興事業では、ベトナムで開催された「第10回 ジャパン ベトナム フェスティバル in ホーチミン」に出展し、北海道の旅行商材の販売促進と、現地旅行会社との関係構築や取引先の新規開拓に注力しました。

取扱高においては、一層高まる桜シーズンの訪日需要を獲得し、HIS 訪日事業部における単月売上上で、過去最高を更新する好調な結果となりました。特に、ヨーロッパの HIS 現地法人からの受客が前年同月比で 178%と高い伸びをみせ取扱高を牽引しました。また、引き続き北米からの団体旅行の受客が好調に推移しており、前年同月比 125%と好調を維持しました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比 147.5%の 20 億 4,612 万円となりました。

2025年3月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比 110.4%の 380 億 1,637 万円となりました。

## 2025年3月 海外における旅行取扱高状況報告

&lt; 海外における旅行区分別 &gt;

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
インバウンド	12,052,618	10,843,832	111.1%
アウトバウンド	14,168,742	18,544,721	76.4%
合計	26,221,360	29,388,553	89.2%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 32 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

## ■ 海外インバウンド

アジア、ヨーロッパでは、日本の春休みに合わせた学生やファミリー層向けの商品が好調に推移しました。特に香港では、香港ディズニーランド・リゾートとの共同プロモーションによる関連商品が需要を確実に捉え、前年同月比 111%となりました。シンガポールでは、B2B において約 1,500 名の大型インセンティブ旅行を受注したことで、前年同月比 120%と好調に推移しました。スペインにおいても、日本からの添乗員付きツアーやアジアマーケットからのオーダーメイド視察ツアーの予約が牽引し、前年同月比 113%となりました。カナダでは、ドイツ・イギリスをはじめとするヨーロッパからの受客を中心に、ウイスキーやバンブーでのウィンターアクティビティ商材が取扱高を牽引したものの、暖冬による受客数の減少がみられ、前年同月比 99%となりました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 111.1%の 120 億 5,261 万円となりました。

## ■ 海外アウトバウンド

ハワイでは、桜シーズンに合わせた日本行き桜鑑賞ツアーが現地のテレビ番組にて紹介されたことで、集客増に繋がり前年同月比 152%と高い伸びを見せました。ブラジルでは、現地日系企業の年度末の帰任、異動に関する渡航手配が増加したことで、前年同月比 128%となりました。一方、取扱高を大きく牽引するカナダでは、引き続きカリブ・中南米行き商品が堅調だったものの、国際情勢の変化を受けアメリカへの渡航が減少したことで、前年同月比 71%となりました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 76.4%の 141 億 6,874 万円となりました。

2025年3月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 89.2%の 262 億 2,136 万円となりました。

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177